



沼山小学校
祖父母ジョイント
(16ページ参照)



初めての議会報告会を開催
(10～11ページ参照)

議会中継を開始
(15ページ参照)

西川町 議会だより

2011.1.15

75

・新年のごあいさつ	2
・12月定例会	3
・一般質問	4～9
・議会報告会	10～11
・議会のうごき	12～15
・「究める・人」シリーズ No.15	16

発行 山形県西川町議会

謹賀新年

新年のごあいさつ

議長 黒坂 久一

新年あけましておめでとうございます。

国際情勢、国内の政治、経済が不安定なまま、新年を迎えました。この日本が今後、どうなるのだろうかと思うのは、私だけででしょうか。

昨年4月、新町長が誕生し、第5次総合計画の新たな後期実施計画の指針が示されました。現況や情勢の変化により計画の変更や廃止もあると思いますが、もっとも重要なことは原点を忘れてはならないことです。

本町議会の議員定数が10人になってから早いもので4年が経過し、今春には議員改選が行われ、4年間の評価される年です。

昨今、議会基本条例を制定する議会が増えていきます。しかし、本町議会ではすでに議会の手引書として議会運用例を定め、その議会運用例のもとでさまざまな取り組みを行っており、議会基本条例を制定する意味合いが薄くなっています。今後も条例に縛られることなく、開かれた、わかりやすい議会に取り組みこととしております。

年を新たにし、議会がもっている監視、審議機能を十分に発揮し、積極的に町民参加の推進をはかり、さらには太いパイプ役となり、町民のしあわせ追求のためにお一層努力してまいりますので、町民の皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。



今後6年間の まちづくりを決定

過疎地域自立促進計画 (22~27年度)を定める

持続可能な地域とまちづくりを

第4回定例会では、過疎地域自立促進特別措置法の効力期限が平成27年度まで延長されたことともない、町長から提出された過疎地域自立促進計画を審議し、原案のとおり可決しました。

計画では、第5次総合計画後期実施計画とともに、自立と協働の具体的な取り組みにより持続可能な地域とまちづくりを推進していくとしています。また、町が過疎債を借りるためには計画を作る必要がありますが、今回から地域振興のためのソフト事業も過疎債の対象となりました。

12月7日から10日までの4日間、平成22年第4回定例会を開き、請願2件を全員賛成で採択し、議員が提出した意見書1件を全員賛成で可決しました。また、町長が提出した過疎地域自立促進計画並びに介護保険条例の一部を改正する条例案を全員賛成で原案のとおり可決し、人権擁護委員候補者および教育委員の人事案に同意しました。さらに、2億4363万円を追加し、総額を55億790万円とする一般会計、簡易水道など3特別会計並びに水道事業会計の補正予算案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

一般質問では、6人の議員が町の政治・行政について町長の施政方針をたきました。

第4回 定例会 決まった おもなこと

請願採択

◆TPP交渉参加反対を求める
意見書提出に関する請願

提出者

さがえ西村山農業協同組合

代表理事組合長 古沢 明

さがえ西村山農業協同組合農政
対策協議会 会長 古沢 明

紹介議員 宮林 昌弘

◆環太平洋戦略的経済連携協定
(TPP)参加反対を求める
請願

提出者

農民運動山形県連合会

会長 花鳥賊義廣

紹介議員 茨谷雄三郎

人 事

◆人権擁護委員候補者に
揚原忠利さん、志田浩一さん

平成23年3月31日で任期満了となる人権擁護委員の候補者に、揚原忠利さん(吉川)を賛成多数で引き続き、また、志田浩一さん(大井沢)を全員賛成で新たに、それぞれ推薦することに同意しました。

人権擁護委員は、町長が推薦した方を法務大臣が委嘱します。本町には4人の委員があり、住民の自由・平等の権利が侵犯されることのないように監視し、もし侵犯された場合には、その救済のため、すみやかに適切な処置をとるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めることを使命としています。

◆教育委員に笹島智子さん

平成22年12月22日で任期満了となった教育委員に、笹島智子さん(吉川)を新たに任命することに全員賛成で同意しました。

補正予算

◆ケアハイツ西川の特養転換増
改築工事に8千万円を補助

ケアハイツ西川の特養転換増改築工事に8千万円を補助することになりました。

工事は、老健施設に配置が義務化されている常勤医師の確保が困難なために、総事業費1億6450万円を投じて50床を特養に転換したもので、12月14日に竣工式が行われました。



ケアハイツ西川の特養ホームの2人部屋

総合産業化の具体的政策は

町長…西川町総合開発(株)を母体として、流通・加工・販売体制を整備します



いきいき直売所 (氷沢)



松田昌一 議員

民主党政権は農業政策を自民党の政策から大きく変え、所得補償方式を実施しました。その結果、米価の引き下げにつながったとの批判があります。事実、JAの内金払いが3千円も下がっています。実際の取引でも新米価格の最低価格を更新し、はえぬきでは1万1866円と昨年12月比でマイナス19%になっています。

米価下落の本町の対策は。

環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の問題もあり、今後、国の動向を見極めて対策を検討していきます。

米以外の基幹作物がいまだはつきりしていない農業の総合産業化の具体的政策は。

総合産業化の推進母体を西川町総合開発(株)とし、集落営農で作られた農産物や山菜等の流通・加工・販売

の体制整備をはかっていきます。また、町内事業者と連携しながら商品開発等を総合的に進め、地域産業の活性化をはかっていきます。

(株)米月山まいがっさんの2千万円を超える赤字を解消するための経営方針は。

依然厳しい状況にありますが、健康食品としての商品開発、販路の開拓やネット販売などの充実をはかり、経営改善に努力していきます。

完成した西川小学校の管理を万全に

11月に完成した西川小学校の校舎および体育館の開校までの16か月間の管理方法と費用は。また、現在の5校の開校式の費用負担は。

さらに閉校後の学校ごとの利用管理方法は。

教育委員会で管理することになります。費用は、今年度は12



月定例会の補正予算に377万円を計上し、来年度は当初予算対応となります。

閉校式費用負担は、これまでの経過もあり30万円の負担金を基本に検討しています。

閉校後の利活用については、庁内で検討していますが、具体的な案などは決定していません。耐震構造や具体的利用計画のない校舎は解体も含め、地域の意見も考慮し早急に取りまとめた」と考えています。

既存の住宅団地の活用と 学校跡地の住宅団地利用を

町長…地域とも検討を重ね積極的に政策を進めます



池上 博 議員



西山小学校

町民の合意形成がないままに重大事案である住宅団地造成が議会に提示されました。

町長と語る会の住宅団地造成の意見を精査せず、議会報告会の内容も検証せず、議会に提案されています。町長の対話政治姿勢が見えません。町民意識調査の宅地購入14人の希望で巨費を投じての住宅団地造成に町民は納得しないと考えますが。

新たな住宅団地造成の前に、既存の住宅団地の空き地と旧東部保育所跡地、廃校される学校の膨大な跡地の住宅地活用の十分な検討が必要と考えますが。

「町長と語る会」などを踏まえ議会にも報告していますので、突然、強引に進めたものではありません。利便性の高い場所に定住してもらうための定住基盤整備は、早く実施する必要がありますと考えています。

既存の団地は既に分譲されており、保育所跡地は数戸の分譲が可能です。学校跡地の活用は町でも地域でも検討していく必要があります。

雇用の場とスーパーがない町に若者は定着しません。住宅団地造成より力点をおいて対処すべきと考えますが。

雇用の場の確保には産業振興策を進めていきますが、時間がかかります。町内企業には町外からの就業者も多く、町内からの雇用を勧めていくことも必要です。また町外への通勤には交通の利便性向上も重要です。スーパー誘致は、町外での買い物が増加していることから営業が成り立つかどうか、また、既存商店との競合など、難しい課題と捉えています。

周辺市町では住宅団地が売れなくて苦慮していますが、どのように捉えていますか。

さらに現下の経済情勢から第5次総合計画の住宅団地造成見直し論をどのように捉えていますか。

市町によってはそういうところもあります。分譲の規模と需要の関係それと経済情勢が影響していると思われるかもしれませんが、本町では19区画と少ない分譲数でもあり、生活の利便性の高い、町の一等地でもありますので、積極的に誘導策をとって早期に完売したいと考えています。

年間の出生は22人、人口が1200人減少、町税は5千万円減、学校建設の借入金返済などを考慮すると大事業実施が懸念されます。住宅団地造成などで公平な町民意識調査実施の要望がありますが。

税収が少なく地方交付税に依存する財政運営ですが、借金は5年間で18億円減少、基金は増えており、財政計画を立てて政策を進めています。町民意識調査は当面考えていませんが、毎年「町長と語る会」を開催し、町民のまちづくりへの参画をはかっていきます。



西川せらぎ団地

橋の長寿命化と 今後の道路整備改良をどうするのか

町長…第5次総合計画や過疎計画に組み入れ、積極的に進めます



綱取橋橋梁補修工事



宮林昌弘 議員

一 全国的に橋の老朽化が問題になっており、国では市町村が管理する橋の修繕計画をまとめた場合、50%補助しています。本町で目視調査した結果、綱取橋がもっとも損傷が激しく、早速、今年度から補修工事をしていきますが、ほかに本道寺地区の本道寺橋と風吹橋の2橋、大井沢地区の根子川橋と不動橋、松原橋の3橋に損傷が見られ、補修が必要な橋になっています。今後の年次別補修計画をどのように考えているのか。

また、今後の補修計画はどうなっているのか。

現在47橋存在し、目視調査は全部終わっています。しかし、診断済の橋は30橋で、17橋は診断に至っていません。さらに、診断済の30橋のうち22橋は、改修等の対応が必要で、そのうち11橋は改修済との報告を受けています。

三 吉川の「あづま橋」は、以前から県代行工事で拡幅工事を要望してきたが、平成16年度から代行工事はしない方針になったので、町単独事業で今後、どのように進める考えか。

今後の改修計画については、第5次総合計画や過疎自立促進計画のなかで一部計画化し、計画的に着手していきたいと考えています。

二 県でも長寿命化調査をしたかと思いますが、町内の県道に架かる橋の長寿命化対象の橋はどの程度あるのか。

県に対し要望活動を行ってきましたが、平成16年に新たな県代行工事には取り組まないとの報告を受けています。町としては、国の補助を受けて今年度から調査設計に入っており、来年度以降、実施設計、丈量測量を行い事業を進めていきます。

四 財政難を理由に以前行っていた各地区ヒアリングを廃止しています。しかし、選挙公約し

た町政座談会で、町長はヒアリングを復活させると言ってきたが、今年出された各区の道路整備改良など多くの要望事項を来年度の予算編成でどのように反映させる考えなのか。

今年度の各区ヒアリングは定期的に難しいので、来年度から地域ごとの地域づくり計画を策定していただき、それにもとづいてヒアリングを行い、平成24年度の予算編成から反映したいと考えています。



あづま橋

拠点地整備事業にかける 覚悟のほどは

町長…重要な施策であり、継承発展し、夢のある元気なまちづくりを行っていきます



井場 榮治 議員



拠点地整備予定地

拠点地整備をどのように捉えているか

本町にとってもっとも重要な政策と考えますが、町長は現実対応の発想で、規模を縮小し実行しようとするのは、あまりにも短慮的ではないのか。

拠点地整備は、第5次総合計画の定住人口維持の基盤整備として産業振興と並ぶ重要な施策です。私の政策は第5次総合計画を継承発展し、夢のある元気なまちづくりを行っていくことです。事業全体は、ほぼ当初計画とおりですので見直しということではありませんが、造成分譲を需要などに合わせ二期にわけて進めていくつもりです。

二期に分割し事業推進する考えならば土地は一括購入すべきでないか

二期に分割して事業を推進する考え方は問題や課題があり、残された土地の土地規制をどうしていくのか。残された農地所有者は周りが住宅地のなかで稲作を営むことになり、今後ますます苦勞する作業になります。残された土地所有者の意向にどのように対処する考えか。

宅地造成分譲は、政策的にも積極的に進めていきます。分譲は誘導策をもって進めますが、若者の定住、住宅新築は現在の社会経済情勢下では厳しいと思っています。したがって、一期分は早期に完売できるように努力しますが、その状況により土地取得も含め、二期分に着手するのが最良の進め方であると考えています。

雇用促進住宅睦合宿舎購入にあたり維持管理費、修繕費を再吟味したのか

今後懸念されることは、建設後16年ほど経過しており、将来発生するであろう大規模改修のコストや管理費用の増加などを考えた

き、結局これらが本町の大きな財政負担となることが予測され、購入すべきではない。

修繕費の概算は7千万円となっております。これは今後予想される外壁の改修なども含み、雇用・能力開発機構との協議によりどこまで対応してもらえるか、町単独で整備しなければならぬ場合は、財源について国や県に要望していきたいと考えています。なお、実際の費用は実施する際に十分検討します。改修の時期は、建物の状況、入居状況を見ながら対応していきます。



雇用促進住宅睦合宿舎

住宅地を完売するための優遇措置は

町長…優遇措置に加え、分譲価格も検討します



ボランティアサークルくれよんクリスマスパーティー



古澤 俊一 議員

拠点地形成で宅地の区画数が以前の半分程度の計画規模になりました。他市町の分譲地ではスーパーなどの建設予定を販売目玉として取り入れていきます。本町の将来と若者のニーズを踏まえ、町内でもっとも生活の利便性がよい住宅地を完売するための優遇措置の考えは。

宅地分譲については、計画地の立地条件のよさに加え優遇措置が必要と考えています。第一は分譲価格、西川せせらぎ団地では約4万円

でしたが、近隣の状況も調査し検討します。また、4歳以下の方には100万円、町内から木材を購入した場合の補助金、美しい木造建築奨励補助金など、これらも含め、長期賃貸住宅、さらには本町にあった低価格のモデル

ル住宅なども検討したいと考えています。

環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）をどう考える

本町の農業就農者平均年齢は71・7歳です。この現状と本町の将来のために農業形態の法人化などの考えは。

また、農業では所得向上どころか耕作放棄地の増加などで国土保全が危ぶまれるTPPに対する考えは。

本町の農業従事者は高齢化しており、担い手不足が心配されています。このため集落営農による農業の推進、法人化を含めて対策を講じていきます。

TPPは、農業振興だけでなく日本経済に大きな影響を与える問題です。特に、米価は大暴落することが予測されています。国では戸別所得補償制度の拡充を検討しているため、その政策にも期待しています。

全職員の顔写真、出身地を掲載した名簿を毎年発行できないか

協働のまちづくりを進めるう

窓口がより利用しやすくなりました



えで今後ますます職員と町民の接点を深めることが必要不可欠です。町民に職員の顔を知っていただくために顔写真などを掲載した名簿を発行できないか。

町民に職員を知っていただくことは大切ですので常に名札を付けて対応し、町民への周知は、役員名簿を作成し全戸配布、全職員の所属と配置も掲載しています。職員へは、町のイベントや地域の活動にも極力参加するよう勧めます。さらなる職員の意識啓発も行い、写真がよいかどうかも含め今後の検討課題とさせていただきます。

地域を元気にする中小業者支援、 住宅リフォーム助成を

町長…産業全体の基盤強化をはかり計画を実施していきます



渋谷 雄三郎 議員



町長と語る会（綱取）

まちづくりは町民
主導で

第5次総合計画
後期実施計画案で、
9月に町長と語る
会が実施されたが
意見や要望など町
民の声、反応はど
うだったのか。そ
の結果、計画の見
直しはなかったの
か。

町長に就任して
初めて町民の意見
を直接お聞きする
機会であり、女性

の意見も多く、歓迎されたもの
と感じました。意見、要望は、
後期実施計画で対応するもの
と区分し、今回、議会全員協
議会に示した後期実施計画、過
疎地域自立促進計画に反映した
ところです。

町民が納得できる定住人口対策
を

定住人口対策の基本は、住み
慣れたところに住んでいける地

域づくりであると考えているが、今
後の定住対策の一環としての宅
地造成や住宅の提供について、
町長と語る会をおしてどのよ
うに受け止めているか。

また、所得向上と就労の場確
保は定住のためには欠かせない
課題と考えるが、今後の方策は、

宅地造成は反対の声と早急に
進めるべきとの声がありました
が、定住人口維持のための基盤
整備は必要と感じています。同
時に農業を核とし商工業や観光
と連携した産業全体の基盤強化
をはかるとともに、町内の企業
紹介や企業誘致などにも引き続
き取り組んでいきます。

住宅リフォーム助成を

地域を元気にする中小業者支
援、仕事起こしのために、住宅
リフォーム助成を実施しては、

県では、景気対策の一環とし
て住宅リフォーム助成を考えて
おり、町としても合せて検討し
ていきます。

また、本町では、高齢者や在
宅介護支援のため、住宅改修支
援事業や雪国の快適な住まいづ

くり補助を実施しています。

町民参画のまちづくりを

まちづくりへの町民参画をは
かるとあるが、具体的にどうい
うことか。

地域主体の地域づくりの推進
とヒアリングによる町事業への
反映、公募を含めた委員会や審
議会のあり方、女性の参画、計
画や重要事業などを検討するま
ちづくり委員会、パブリックコ
メントなどにより、町民参画の
仕組みづくりを進めていきます。

（注）パブリックコメント…

原案を事前に公表し、住民か
ら意見等を求め最終決定する
制度



月山山菜市場

報告会を開催

要望に対応



議会報告会

Q 議会報告会の継続は。

A 今後も開催しますので、みなさんの参加をお願いします。

Q 議会報告会より、公聴会として開催すべきでは。

A 名称は今後、検討します。

Q 議員全員が出席して議会報告会を開催すべきでは。

A 開催の場所および回数もあり、2班編成で行っていきます。

議員

Q 議員の議会での発言が見えませんが、議会運営や活動の面で議員定数10人は少ないのでは。

A 削減してまだ1期4年で、今後の検討課題ですが、支障がないように努力しています。

Q 9人の議員が政党に所属していないなかでの議会活動は。

A 支障はありません。

Q 議員として望ましいのはポ

ランティア型、専門職型のいずれですか。

A 専門職型が望ましいと考えていますが、条件もあり現行制度で努力します。

Q 日常の議員の活動が見えませんが。

A 議員個人の活動で努力しています。

Q 議員は町全体の議員としての信念をもつべきでは。

A 今後さらに努力していきます。

Q 議員が委員等に就任しなければならぬと法令で定められた審議会等は。

A 総合開発審議会、都市計画審議会、国民健康保険運営協議会等です。

会議

Q 一般質問に町民の意思の反映は。

A すべての質問に反映されています。

Q 一般質問の議員相互の相談は。

A ありません。

Q 一般質問の答弁に具体性がないので、議員はもっと追及すべきでは。

A 議会だよりでは文字数の関係があり詳しく掲載できませんが、さらに努力します。

Q 議員の質問に町長等が質問できる反問権は。

A 議長の許可により行えます。

Q 光ファイバーの議会中継は。

A 12月定例会で試験稼働し、3月定例会から本稼働します。

Q 議事録のインターネットでの公開や公民館単位での閲覧は。

A 議会事務局および町立図書館で閲覧できます。インターネットは予算の関係もあり、今後検討します。

Q 夜間議会の開催は。

A 当面はインターネットの生中継と録画中継を行います。

Q 議場の傍聴席が聞き取りにくいのでは。

A すでに対応しています。

村山地方初の議会

すみやかに意見、

議会活動

Q 議会として町の事業をチェ
ックすべきでは。

A 当然、監視機能を働かせて
います。

Q 議員は連携をとって、しつ
かり仕事をすべきでは。

A 議会全員協議会や常任委員
会で議論しています。

Q 議員がない地区に対応す
べきでは。

A 議会報告会で積極的に意見、
要望を取り入れます。

Q 高速道路無料化のメリット
とデメリットの評価の議会の見
解は。

A 両方の評価があり、デメリ
ット解消に向けて町当局に対応
を要請しています。

Q 人口が減少し町民負担が出
てくるので、議会として事業仕
分けをすべきでは。

A 個々の政策を十分議論し、
検証していきます。

Q 町民生活に明るい見通しが

立つように取り組むべきでは。
A 町民所得向上に向けて、議
論しながら町の政策に反映され
よう努めています。

Q 西川小学校建設について、
議会で建設的でない意見が出て
います。

A 議論しながら平成24年度開
校に向けて進んでいます。

Q 議会として月山山菜そば組
合の活動実態を認識していない
のでは。

A 町の特産でもあり、今後も
期待しています。

Q 米価の下落で田の荒廃が心
配されますが、よい対策は。

A 国に意見書を提出していま
すし、今後も対策を要望してい
きます。

Q 議会だよりと町報の内容が
重複、また、一般質問の内容が
詳しくないのでは。

A 文字数の関係がありますが、
これまで以上に読みやすい紙面
作りに努力します。

Q 町のあるべき姿、議会の態
度を示すことが大切なのは。



A 個々の政策を十分議論して
いきます。

Q 雇用促進住宅睦合宿舍の購
入や住宅団地の造成は財政的に
大丈夫か。また、十分な議論は。

A 財政見直しを含めながら十
分議論しています。

Q 町長や議員もトップセール
スで山菜などを販売すべきでは。

A 生産者や関係機関と検討し
ていきます。

Q カメムシ、ナラ枯れなどの
防除対策をすべきでは。

A ナラ枯れ対策は県および町
で行っていますが、カメムシ対
策は個人対応でお願いします。

Q 海味地区の拠点地形形成事業
の土地は、先行投資して全部購
入すべきで、議会でも十分な検
討をすべきでは。

A 議会全員協議会で集中協議
するなどして、十分議論してい
ます。

Q 西川小学校の設計が問題で、
地元業者が入れないと聞いたが、
議会での問題認識は。

A 公募型設計で設計業者決定
段階での議論はありませんでし
たが、業者決定後は、設計内容
を議論しています。

Q 海味および間沢地区の町中
心部に限らず、周辺部へのバッ
クアップをすべきでは。

A 町に要請し、議会でも努力
します。

町へのおもな意見、要望

- 第5次総合計画の具体化
- 住宅団地の造成
- 雇用促進住宅睦合宿舍の購入
- 高校通学対策の実施
- 除雪や雪対策の充実
- 光ファイバーの加入促進
- 環境問題への取り組み

議会の うごき



12月定例会傍聴席

臨時会

■11月8日(第4回)

◆光ファイバー敷設工事契約額
2億6572万円

インターネットなどの配線のため、間沢川地区を除く町内全域の光ファイバー敷設について町では東日本電信電話(株)山形支店と2億8560万円で工事請負契約を締結し進めていきましたが、NTTの既設地下管路の借用が可能となったことなどにより1988万円減額となりました。減額後の金額は2億6572万円で、全員賛成で原案のとおり可決しました。

光ファイバーのサービスは12月から開始されており、議会中継システムを含めたすべての工事も12月下旬で完了しました。

■11月29日(第5回)

◆期末手当等を引き下げ

議会議員のほか、町長、副町長および教育長の特任職並びに一般職の職員の期末手当および

勤勉手当の年間支給月数を4・15か月から3・95か月に引き下げるなどの条例案を、特別職の条例案は全員賛成で、一般職の条例案は賛成多数(賛成8人、反対1人)で、それぞれ原案のとおり可決しました。この引き下げにともない約1600万円の減額となりました。

常任委員会

総務厚生常任委員会

10月1日

◆朝日町の光ファイバーの利用実態調査

加入率は35%で目標をクリア

朝日町の光ファイバーの利用実態について、同町の議会議員および担当職員の方から説明をいただきました。

同町では、平成18年度から光ファイバーのサービスを行っており、19年度からは議会の本会議を中継しています。関係者の方からは「町内の地

域間における情報格差の解消や若者定住対策などを目的に光ファイバーを敷設した。インターネットサービス加入者数は、年々増加し、平成22年8月末現在で町内全世帯2400戸の35%にあたる862戸が加入し、3割の目標をクリアした。公共サービスの保守費と道路改良などにともなう移転料を除いた維持管理費は年間約600万円で、NTTから支払われる貸出料でほぼ賄っている」との説明がありました。

意見交換では、「光ファイバーの最大のメリットはインターネットを素早く利用できることである。使い方はいろいろあるが、西川町でもテレビ電話などの高度利用など加入したくなるような環境を整備できないものか」などの意見が出されました。

■10月13日

◆村山市の飴葉プラザを中心としたまちづくり調査

地元商店と連携し、にぎわいを

村山市の総合文化複合施設(愛称は飴葉プラザ)を中心に

したまちづくりについて、同市の議会議員および担当職員の方から説明をいただきました。

関係者の方からは「中心市街地の活性化をはかることと市全体のまちづくりを目的に、市立図書館を中核とした複合文化施設として建設した。図書館と地元商店が連携し、にぎわいづくりをめざしている。図書館建設は、まちづくりをするのは人づくりをするのは読書との考えのもと、10年かけて検討してきた。図書館には7万冊の蔵書があり、施設内にある親子交流ひろばや多目的ホールなどいっしょに訪れる方が多い」との説明がありました。



飴葉プラザ (村山市)

12月17日

◆第5次総合計画後期実施計画調査

若者定住のために大胆な政策を

第5次総合計画後期実施計画について、総務企画課から説明を受け、意見交換しました。

意見交換では、「人口は町の力だ。大切な若者の定住のために、保育料、子ども医療費、高校通学対策などで大胆な政策が必要なのではないか」「計画実現のために、町、議会、そして町民がいっしょにがんばっていかねばならない」などの意見が出されました。

産業建設常任委員会

10月14日

◆農事組合法人大井沢農作業受託組合の現況と今後の方向性調査

農業経営できる法人化組織を

農事組合法人大井沢農作業受

託組合の現況と今後の方向性について、同組合および産業振興課から説明を受けました。

組合からは「主要な農産物は、そばが受託作業を含めて50町歩、枝豆1町歩、水稲1町歩、わらび4町歩、わさび1反歩、ほうれん草2反5畝となっている。2町8反からスタートして15年ようやく軌道に乗ってきた。現在は30町歩を借り受けており、借り手の責任として畔刈りなどの手入れを心がけている。地域の活性化に結びつけるために若者に期待している」との説明がありました。

意見交換では、「現在の農業を取り巻く状況が数年続けば、ほとんどが農業をやめると思っている。本町の農業を将来にわたり継続していくために、組合を見本に農作業の組織を作って、若者からも働いていただくことが必要なのではないか。そのためには組織を法人化し社会保険に加入していかなければならない。このままでは民家の前から荒地になる恐れがある」などの意見が出されました。

当日は、意見交換に先立ち、最盛期のそばの収穫、乾燥作業を調査しました。



そば乾燥作業

12月7日

◆請願の審査

12月定例会で付託された次の請願を審査し、全員賛成で採択しました。

- 「TPP交渉参加反対を求める意見書提出に関する請願」
- 「環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）参加反対を求める請願」

広報公聴常任委員会

◆西川町議会だより（75号）の編集

- 12月8日（編集会議）
- 12月21日（レイアウト）
- 12月28日（初校）
- 1月4日（二校）
- 1月7日（三校）

行政調査報告

10月25日～26日

議会運営委員会では、新潟県関川村の「村づくり基本条例」「コミュニティ支援事業」を調査しました。

自立の道を選択し、村づくり基本条例を制定

関川村は、小国町の隣に位置し、人口6700人、面積299㎦で、環境も本町とよく似た村です。議会議員は12人で、総務厚生および産業建設の常任委員会があります。合併しないで自立の道を選択

し、村づくり基本条例を作りました。村民、議会、村は、この条例を最高の規範として尊重する責務を負い、それぞれの立場でむらづくりを推進しています。そして、むらづくりを推進するために、集落や団体等の活動に補助するコミュニティ支援事業を行っています。

村民、議会、村が一体となって自立の道を歩んでいました。（議会運営委員長 佐藤征男）



議会運営委員会行政調査（関川村）

議会の うごき



シンボルツリーもある西川小学校

議会運営委員会

■11月2日

第4回臨時会（11月8日）の運営について決定しました。

■11月24日

第5回臨時会（11月29日）の運営について決定しました。

■11月30日

第4回定例会（12月7日～10日）の運営について決定しました。

議会全員協議会

■11月8日

定住促進のための宅地、住宅供給対策について町から説明がありました。

町が「宅地造成の土地は分割購入」の意向を示す

町では、学校、病院、福祉施設、金融機関などに近く町内でもっとも利便性がよい役場庁舎南側の町道間沢海味線沿線に宅地を造成し、若者が子育てしやすい環境を整備して、定住人口に歯止めをかけていくこととしています。

6月の議会全員協議会で町は、一期、二期にわけて宅地を造成分譲することとし、一期では、一般町営住宅を2LDKおよび3LDK合わせて10戸、3LDKの長期貸付住宅を5棟、高齢者住宅を長屋方式で6戸、分譲分として、約110～170坪で19戸分を計画していると説明していました。

さらに、この日、新築住宅の着工件数の減少、労働条件等の悪化による賃金の低下、金融引き締めなどで若者の住宅建築にとって厳しい情勢にあるために、土地も必要部分を購入し、事業の進捗によって拡大していく考えであるとの説明がありました。

町が「雇用促進住宅睦合宿舎購入」の意向を示す

町では、購入しないとしていた雇用促進住宅睦合宿舎につい

て、小川町長が就任し、再検討の結果、若者の住宅建設が社会的に困難になってきている事情などを踏まえ、購入することとし、平成23年度の予算に計上したいとの説明がありました。

町道西川小学校線道路改良工事3月に完成

現在、改良工事が進められている町道西川小学校線について町から説明がありました。

同路線は、国道112号から西川小学校への延長約300mの連絡道路で、歩道が設置されます。完成は今年の3月の予定です。



町道西川小学校線 道路改良工事

■11月12日

11月8日の議会全員協議会で町から説明があった定住促進のための宅地、住宅供給対策について、議長を除く9人の議員が個々の考えを述べました。

宅地造成の土地を一括購入すべきとする議員が7人

7人の議員が、住宅団地を造成すべきとしました。さらに、7人の議員すべてが、一期、二期に造成をわけた場合、二期分の土地所有者に不安感をもたせないためにも土地は一括して購入すべきとしました。

一方、1人の議員が、以前に造成した住宅団地で、すぐにも利用できる場所があり、現段階では新たな住宅団地の造成は必要ないとしました。

残る1人の議員は、住宅団地は必要であるが、厳しい経済情勢のなかで、学校の跡地や町の遊休地などの利活用を十分に検討して、慎重に対応すべきとしました。

雇用促進住宅睦合宿舎を購入すべきとする議員が5人

議会中継始まる



12月定例会の様子をインターネットをとおしてお茶の間にお届けしました。光ファイバー敷設事業で議会中継システムを整備したもので、これから定例会および臨時会の様子を生と録画でお届けしていきます。

議会中継は、役場のホームページの「議会中継」からご覧いただけます。

第5次総合計画後期実施計画の概要について町から説明があ

第5次総合計画後期実施計画に町民の意見を反映

11月29日

5人の議員が、近隣の市で働いている方々の町内への居住の提供などのために、購入して活用すべきとしました。

一方、3人の議員が、近々中に大規模な改修が予想されるなどで、購入すべきでないとした。

残る1人の議員は、現在運営している雇用・能力開発機構の修繕計画などが明らかにになったなかで考えたいとしました。

りました。

後期実施計画の方針については、9月の議会全員協議会で町から説明がありました。町では、町長と語る会が出された意見などを反映して計画を作るとして行っています。

町では、町長と語る会を出された意見を集約して後期実施計画を作りましたが、計画期間となる平成23年度から25年度までの3年間で、本町に住むことの誇りをもてるための事業、総合産業化を含め持続できる地域経済のための事業、町民の町政参画および人材育成のための事業、地域づくりおよび地域の活性化のための事業を実施し、自立と協働の具体的な進展をはかっていくとしています。

12月7日

西川小学校開校後のバス運行はスクールバスが中心

平成24年度の西川小学校開校後のバス運行の基本的な考え方について、町から説明がありました。

町では、スクールバス中心のバス運行を計画しており、スクールバスに保育園児や一般の方も乗車できることとしています。また、運転手の確保や運行管理面などから、月山観光タクシー(株)への委託方式でバスを運行したいとしており、今後、協議を進めるとしています。

また、今年の4月から高校通学対策として高松駅線が新設される予定です。

介護保険のお出かけ支援サービスを継続

介護保険のお出かけ支援サービスの継続について、町から説明がありました。

お出かけ支援サービスは、要介護2以上に認定されている方を対象に、外出にかかった費用の一部を、1か月の利用回数か

4回、利用料金が4千円を限度に助成するものです。

これまでは国および県の補助を受けて事業を実施していましたが、補助がなくなったので、今後は町特別給付として事業を継続することになりました。そのため介護保険条例の一部を改正する条例案が、12月定例会に町長から提出され、全員賛成で原案のとおり可決しました。

光ファイバー施設をNTT東日本に903万円で貸し出す

光ファイバー施設の貸出契約について町から説明がありました。

光ファイバーは12月からサービスが開始されていますが、町では、光ファイバー施設を年額903万円でNTT東日本に貸し出し、サービス主体となっています。

また、12月19日現在での町内の光ファイバー加入件数は661件となっています。

町村議会議員研修会

政策議会への転換が求められる

県町村議会議長会主催の町村議会議員研修会が10月12日、山形国際交流プラザ(ビックウイング)で行われ、議員全員が参加しました。

研修会では、政策議会への転換など住民が求める地方議会の新たな責務や政局・政治展望について講演がありました。

大江・西川両町議会議員協議会総会

主要地方道貫見間沢線の整備促進(沼山地区)を県に要望

大江・西川両町議会議員協議会の総会が11月5日、本町議会議員8人、大江町議会議員11人が出席し、小川町長、大江町の鈴木副町長並びに鈴木、阿部両県議会議員を来賓に迎え、本町の役場で行われました。

総会では、主要地方道貫見間沢線(沼山地区)および大江西川線の整備促進を県当局並びに鈴木、阿部両県議会議員に要望することを決定しました。

つる細工

夫婦、息を合わせて

遠藤 喜一さん (85歳) (上島町内会)
たみよさん (83歳)



戦後、大井沢地区のほとんどの家では、蚕(かいこ)から、生糸の原料のまゆをとって収入を得ていました。蚕が食べる桑を運ぶために、雨などで濡れても丈夫な籠が必要でした。そこで、あけびのつるで籠を編んでいたのです。籠は生活を営むための必需品で、親が籠を編むのを見ながら育ちました。物心がついたころから見よう見まねで籠を編んでいましたが、いま思い起こすと懐かしくなります。

学校を卒業してからは、炭焼き、なめこの缶詰作り、そして昭和45年の大井沢ふるさと民宿の発足と同時に民宿を経営するなどして子どもを育ててきました。

還暦を過ぎたころ、つる細工を習いました。大井沢地区のつる細工を普及した佐藤正寅さん(征男議員のお父さん)の教えを受けた齋藤源三さんから、家内といっしょに習いました。

現在は、手提げや財布、書類バックなどを作り、大井沢産として、大井沢温泉館で販売しているほか、問屋に卸しています。が、沖縄県から注文をくださる方もいます。

材料は、ここ20年、ぶどう皮

を用いています。ぶどう皮は、使っているうちに艶が出て黒光りしてきます。もちろん丈夫で、お姑さんが買って嫁さんが使うところが最高の品質になります。ただ、この皮採りがもっとも大変な作業で、樹液が動いて皮を剥げる時期の6月から7月上旬の間に1年間分の皮を採らなければなりません。

採ってきた皮を家内が裁断し、私が網代(あじろ)や亀甲(かめこう)という昔ながらの素朴な編み方で編んでいます。本来は、一人でこの作業をやるのですが、息が合っているのか、これまで不都合はありません。娘や孫たちにはセールスウーマンとして活躍してもらって、つる細工の収入で湯治にも行くことができます。「死ぬときに幸せであれば最良。俺のところに来て幸せだろう」と家内に話しながら今日も編んでいます。



75号の表紙

世界でたった一つの竹でつぼう



沼山小学校で11月16日に行われた「祖父母ジョイント」老人クラブの方や家族といっしょに、ノコギリやナイフなどの道具の使い方、竹でつぼうを作りました。

沼山小学校は明治7年の創立。校章は、沼山の山を中心に周りに沼の文字を図案化、バックには希望をもつてたくましく育ててほしいという願いを込めて、校庭の桜が配置されており、昭和14年に制定されました。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。心より祝福申し上げます。内外の動静の穏やかなことを祈念せずにはおられません。

「これより十五日已後一句道いもち来たれ(これより一番大切な生き方は何か)」。禅師が満座の僧に問うが返答がないのを知るや即「日々是好日」と示された逸話があります。一日に好い日悪い日の別はありませんし、色もついていません。この今、太陽と自然は等しく、私たちをつつんでくれます。先般の議会報告会では、多数の皆様方にご参加のうえ、貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。あらためて、本年もよろしくご愛読をお願いします。(青山 知教)

《発行・編集責任者》
議長 黒坂 久一

《編集委員》
委員長 宮林 昌弘
副委員長 古澤 俊一
委員 青山 知教
委員 松田 昌一